

全般 1 か月予報

(6月25日から7月24日までの天候見通し)

平成17年6月24日

気象庁 気候・海洋気象部発表

<特に注意を要する事項>

東日本と西日本では少雨が続いています。少なくとも向こう一週間は東日本太平洋側と西日本では雨が少ない状態が続く見込みです。また、東日本太平洋側と西日本では、向こう1週間は晴れて、気温が高い状態が続くでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

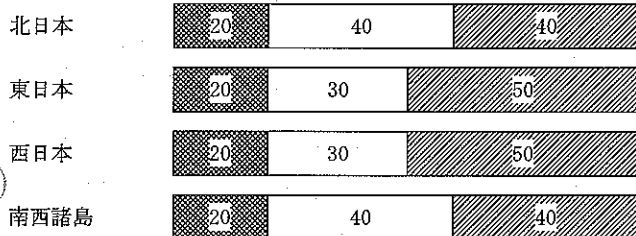
天気は北日本と東・西日本日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、南西諸島で平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、前半を中心に平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は東日本と西日本では高く、北日本と南西諸島で平年並か高いでしょう。降水量は東・西日本太平洋側と南西諸島で平年並か少なく、東・西日本日本海側で平年並で、北日本で平年並か多いでしょう。日照時間は東・西日本日本海側と北日本で平年並で、東・西日本太平洋側と南西諸島で平年並か多いでしょう。

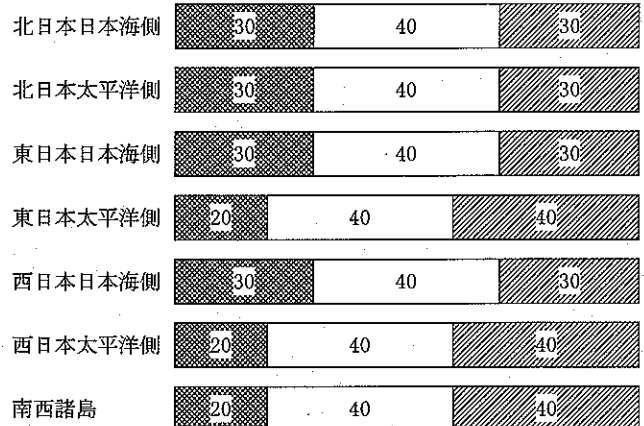
週別の気温は1週目は南西諸島で平年並の他は、高いでしょう。2週目は北日本で平年並の他は、平年並か高いでしょう。3～4週目は南西諸島で平年並か高い他は、平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

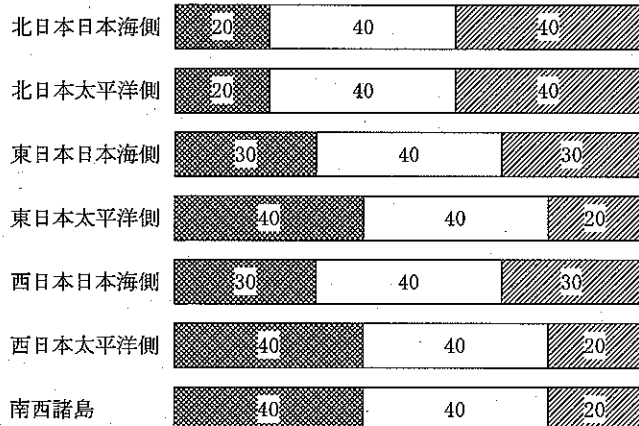
[気 温]



[日照時間]

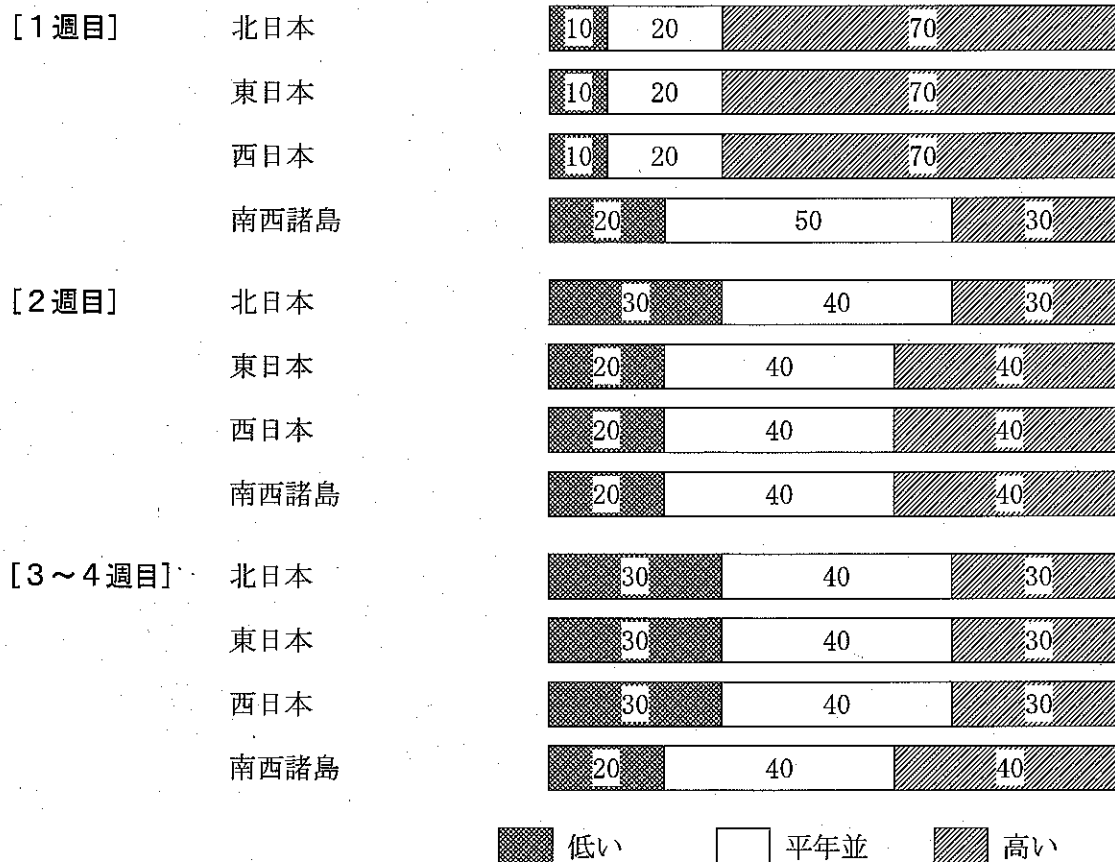


[降 水 量]



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率（％）>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月25日(土)～7月24日(日)
 1週目 : 6月25日(土)～7月1日(金)
 2週目 : 7月2日(土)～7月8日(金)
 3～4週目 : 7月9日(土)～7月22日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分発表 次回は7月1日
 3か月予報：7月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲）>

（１）１９７１～２０００年のデータに基づいた向こう１か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差（℃）		降水量平年比（％）	日照時間平年比（％）
北日本	-0.4～+0.5	日本海側	83～114	92～108
		太平洋側	82～114	90～109
東日本	-0.4～+0.6	日本海側	71～117	90～113
		太平洋側	86～108	93～107
西日本	-0.7～+0.5	日本海側	71～122	85～109
		太平洋側	84～111	91～107
南西諸島	-0.2～+0.3		67～107	94～108

（２）この予報期間の１週目、２週目、３～４週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	１週目	２週目	３～４週目
北日本	-0.6～+0.6	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6
東日本	-0.7～+0.4	-0.7～+0.5	-0.6～+0.5
西日本	-0.7～+0.7	-0.8～+0.8	-0.6～+0.5
南西諸島	-0.1～+0.4	-0.1～+0.4	-0.2～+0.3

<参考資料（利用上の注意）>

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、１９７１～２０００年の３０年間における各階級の出現率が等分（それぞれ３３％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった１０％以下や６０％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（３０％、４０％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の２分の１より多い（少ない）ことを意味します。